

耳鼻咽喉科・頭頸部外科後期研修プログラム

I. 研修目的

耳、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、食道、気管およびそれらの中枢神経領域を含む耳鼻咽喉科領域の診断・治療に関する基礎知識・技術の修得を目標とする。

- 1) 耳鼻咽喉科診察の基礎的技術の修得、外来・入院患者への十分な説明
- 2) 耳鼻咽喉科手術の基礎的技術の修得
- 3) 聴力検査、平衡機能検査などの検査手技および診断法の修得
- 4) 咽喉頭・気管・食道の軟性ファイバースコープおよび硬性内視鏡による検査手技の修得

II. 到達目標

(1) 診察・診断

- 1) 正しい病歴聴取、physical examination ができる
- 2) 耳鏡、鼻鏡、後鼻鏡、間接喉頭鏡、ファイバースコープによる視診ができる
- 3) 純音聴力検査、精密聴力検査、インピーダンスオージオメトリができる
- 4) 平衡機能検査ができる
- 5) 音声機能検査ができる
- 6) 各種疾患について X-P、CT、MRI、超音波検査、RI 検査の読影ができる
- 7) 患者への十分な説明、術前・術後の十分な説明

(2) 手術

- 1) 手術の基本手技【消毒、切開排膿、止血操作、結紮、生検】ができる
- 2) 扁桃摘出術、アデノイド切除術、鼻茸切除術、鼻中隔矯正術、上顎洞根本術、甲状腺手術、気管・食道異物摘出術ができる
- 3) 鼓室形成術、顔面神経減荷術、頭頸部腫瘍の手術、口蓋裂手術などができる
- 4) 入院患者の救急事態に対するプライマリー・ケアができる
【気管内挿管、気管切開による呼吸管理および循環管理】
- 5) 食道再建など各種再建手術の助手をつとめることができる